



港区立高松中学校 学校だより〈第4号〉

平成27年7月8日 校長 鋸持 利行

創立1949年(昭和24年)

〈高松中生のあたりまえ〉推進校

港区高輪1-16-25

『あとよし』の法則

校長 鋸持 利行

最近、よく思い出すことがあります。私が中学校の教師になりたての頃、先輩の先生から教えていただいた『あとよし』の法則という言葉がそれです。たとえば「国語はいいが、数学はよくない」と言えば、どうしてもよくない数学にこだわる。これを「数学はよくないが、国語はいいね」と言いかえるとあまりひっかかりがない。そこで「少し頑張って、数学もやろうよ」などと言うと言葉が素直に耳に入り「よし、頑張るぞ」となりやすい。「式をつくるのはちょっと遅いが、計算はバッチリだね」とか「とりかかりは早くないが、仕事は確実に丁寧だね」という言い方が『あとよし』の法則です。否定したままで、言葉を結ばないわけです。

人間、失敗も多く過ちも多い存在ですから、否定されることが少なくありません。しかし否定されると、気持ちが不安定になることも確かです。人は欠点を指摘して、それを正せと言う。確かに、それはその通りである。ただ、それがどんな善意であっても、時と場合によっては、受けとる方には反対の感情が働きます。「ゲームはもうやめなさい」「遊んでばかりいてはダメだ」という言い方は否定的な言い方です。大人でも、自分の仕事のやり方、考え方を「ダメだ」「やる気があるのか」などと否定的な言い方をされたら、不快感を持つと同時に投げ出したくなるはずです。自分のことを考えても、「前よりはよくなりましたが、まだ正確さがありませんね」と、簡単に『あと悪し』の言い方をしてしまっていることに気がきます。やはり、この言い方では相手が不安定になることを考えると、この『あとよし』の法則は意外と有効なことなのかもしれません。

終業式の日には、子どもたちは通知表をもち帰ります。通知表をひとつのきっかけとして、学校生活について子どもと会話を交わす機会、そして、学習面・行動面のよさを認め励ます機会にしていきたいと思います。



高松アカデミー（今年度の取り組みについて）

【高松中学校研究授業】 6月26日（金）

高松中学校に白金小学校・高輪台小学校・白金台幼稚園・高輪幼稚園の先生方をお招きして今年度第1回の研究授業・研究協議が行われました。協議では港区学校教育推進計画に基づき、分科会テーマを豊かな心の育成・確かな学力の定着・健やかな体の育成・特別支援教育の推進・国際社会に対応する教育の推進・個性と能力を伸ばす教育の推進の6つに分け、それぞれ少人数グループで1年間を通して話し合いを深めることとしました。学びの連続性を確保するため真剣な論議がなされ、その後の発表会で情報を共有しました。



【研究授業】



【研究協議】



【発表】

【白金小学校との交流会】 7月6日（月）

中学校に親しみを感じてもらうため白金小学校の6年生を招き、交流会を実施しました。内容は授業体験・生徒会による高松中学校の説明・部活動体験です。閉会式で「1番印象に残ったことは何ですか。」と尋ねたところ、やはり1番人気は部活動体験でした。しかし、授業にも意欲的に参加し、学校説明でもとても熱心に話を聞いており、とても立派な態度でした。来年、入学してくることを楽しみにしています。



【授業体験】



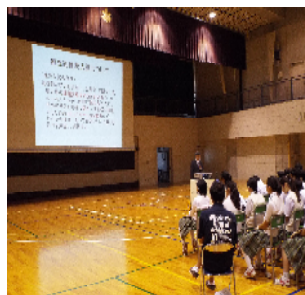
【生徒会による説明】



【部活動体験】

高等学校による3学年進路学習会

修学旅行を終え、3年生の進路学習が本格化しています。6月17日（水）は都立つばさ総合高校の横枕雄一郎主幹教諭、19日（金）は私立東京高校の兼岡俊司校長先生をお招きしてお話を伺いました。それぞれの学校の説明だけではなく、都立高校、私立高校全体の特徴や、今後の動向、受験生として身に付けなければならない力をパワーポイント等で具体的に説明していただきました。運動会・修学旅行を終え、いよいよ始まるなと気持ちを引き締めた人も多かったのではないのでしょうか。



【都立高校進路学習会】



【私立高校進路学習会】